

団体名 公益社団法人日本国際民間協力会

所在地 大阪府高槻市芥川町2丁目14-20 ハウスネットビル4F

設立 1979年12月 Email info@kyoto-nicco.org

HP <https://kyoto-nicco.org>



団体概要

Mission: 1. 緊急災害支援
2. 環境に配慮した自立支援
3. 人材育成

Vision: 人々が貧困と紛争から解放され、地球環境との調和の中で、自己の可能性を十分に実現できる、心と地域の平和の構築。



主な取り組み・課題

- ・緊急人道支援
国内外の紛争や災害に起因する人道危機に対応するため、現地のニーズに沿った支援を実施。直近ではウクライナ紛争被災者への医療物資支給、ミャンマー地震被災者への生活用品配布、能登地震被災者への炊き出し、弁当および生活用品の配布など。
- ・途上国の自立支援
生計向上のための農業技術指導、女性や若者向けの職業訓練など。
- ・衛生環境の改善
給水設備や衛生設備の建設、衛生啓発活動の実施。

主な活動地域

- ・ウクライナ・オデーサ州
 - ・ミャンマー・マンダレー地域
 - ・マラウイ・ムジンバ県
 - ・日本国内
(自然災害発生時)
- *これまでに世界26の国と地域で活動を実施。
上記は2026年の活動予定地域。

これまでの連携実績

1. 共創関係型(インテグレーション型)

連携先: 葉山ロータリークラブ
分野: 保健(感染症予防)
対象者: ケニア・母子死亡率が高い地域の住民
強み: 蚊帳の適切な使用管理
成果: マラリアまん延の改善



2. 資金支援型(フィランソロピー型)

連携先: 大日本除虫菊株式会社
分野: 災害(能登地震)
対象者: 能登半島地震による被災者
強み: 現場の的確なニーズ把握
成果: 被災地にある仮設トイレの衛生環境改善



Shared Vision

連携によって実現したいビジョン

NICCOは、世界中のすべての人が平和で安心して暮らせる世界を作りたいと願い活動をしています。企業が持つ高度な技術やリソースと、NICCOが1979年から培ってきた現地に「寄り添う支援」を掛け合わせることで、紛争や災害によって一度は壊されてしまった人々の生活を、持続可能な形で再建し、一人ひとりが本来持っている力を取り戻せる社会を共に創り上げたいと考えています。

私たちができること

- ・45年以上にわたる現地密着型の活動経験と、住民との強固な信頼関係
- ・各国の政府機関やNGOとのネットワークを活かしたスムーズな事業運営
- ・現地のニーズを的確に捉えた実効性の高いプロジェクト立案とモニタリング
- ・環境負荷を抑えた持続可能な開発手法（エコサントイレ、有機農業等）の知見

サポートして欲しいこと

- ・継続的な事業運営のためのパートナーシップ構築
- ・企業の広報力を活かした社会的認知度の向上
- ・新規事業（紛争や災害時等）の立ち上げ資金・物資の提供
- ・専門スキルを活かしたプロボノによる組織基盤強化

ビジョン実現のためにチャレンジしたいこと

NICCOが実施する活動は、災害地や紛争地での緊急支援から途上国の自立支援まで多岐にわたります。複雑化する現地課題を解決し、NICCOの活動をより迅速かつ持続的に展開するために、企業との連携をさらに促進していきたいと考えています。具体的には、平時から密なコミュニケーションを図り、有事の際にどういった支援が可能なのか、そのために必要な連携をともに考え進めていきたいです。特に、NICCOが抱える安定的な資金確保や社会的認知度の向上といった課題に対し、企業の皆様が持つ広報力やネットワークを活かした活動や、専門技術を導入した新しい自立支援モデルの構築に積極的にチャレンジし、共に持続可能な社会の実現を目指したいと考えています。